

11月22日  
身体を動かし楽しく交流  
第3回ガンバルーン交流会を開催



ゲームの前にストレッチも  
第3回ガンバルーン交流会が11月22日、社会老人福祉センターで行われました。ガンバルーンとは、ガンバルーンというボールを使った7種類のゲームで得点を競うもの。当日は町内外から21チーム(5人1チーム)が参加し、バルーンが摩周のサポーターも含め総勢125人で競い合いました。白熱したゲームもあり、皆さん楽しく交流でき「最近では一番楽しかった」という声も聞かれました。結果は釧路チームが1位・2位を独占。3位があえーる美羅尾Bチームとなりました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

12月7日・1月16日  
南弟子屈の未来について協議  
第2・3回WG会議を開催



南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)では、12月7日に第2回、1月16日に第3回のWG(ワーキンググループ)会議を旧昭栄小学校で開催しました。同協議会では「人が集まり集う 町の玄関口 南弟子屈」を将来ビジョンとし、南弟子屈地区の活性化を目指して活動を行っています。会議ではライダーハウス事業、レンタルスペース事業、酪農体験事業、飲食事業の4つのプロジェクトについて各代表者から進捗が報告され、来年度以降の方向性について全体で協議を行いました。

11月28日  
皆さんに安全に気持ちよく  
辻谷建設(株)が社会貢献活動



辻谷建設株式会社(辻谷智之代表取締役)の皆さんが11月28日、水郷公園を訪れる方々に気持ちよく利用していただきたいと、園内の遊具とあずまの清掃作業を行いました。当日は晴天のもと気持ちよく作業。モップや布巾を使って高いところから遊具のせまい隙間まで手作業で丁寧に清掃を行いました。

12月13日  
地場産牛乳を味わう  
町内の小・中学校へ「町民還元牛乳」を振る舞い



地場産牛乳のPRと販売促進のため12月13日、町内の小・中学校へ「摩周草原 牛のおっぱいミルク」およそ560本が振る舞われました。農業生産条件が不利な地域の活性化を図る中山間地域総合整備事業の一環で行われているもの。町内で唯一、地場産で生産、加工、販売されている「牛のおっぱいミルク」を多くの町民の皆さんに飲んでもらおうと、農協・生産者の協力で平成22年から毎年実施されています。給食の時間に振る舞われ、子どもたちは「すごくおいしい」「もう飲んじゃった」など嬉しそうに味わっていました。

12月9日  
今後のクラブ運営への機運を高める  
放課後児童クラブ支援員研修会を開催



平成30年度放課後児童支援員研修会が12月9日、町公民館講堂で開催され、町内の支援員15人が受講しました。同研修は支援員に必要な知識や技術の習得や課題解決など、資質の向上を目的に開催されました。北海道学童保育連絡協議会事務局の竹村早苗さんを講師として迎え、学童保育の歴史や職場環境整備、学校移転に関する利点や課題などを中心とした講演が行われました。参加者からは「あらためて支援員の大切さや子どもたちへの寄り添い方が分かった」などの声が聞かれました。

年の初めに防火意識を新たに

弟子屈消防・川湯消防の出初式



はしご乗りの妙技を披露(川湯消防)

年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。



徳永(町長)組合長らが見守る中分列行進を実施(弟子屈消防)

釧路管内のトップを切って、弟子屈消防の出初式が1月4日、弟子屈消防署前で行われました。消防力の充実・強化と、消防団員の士気高揚を目的に、毎年開催されています。式には、消防団員や来賓など約70人が出席。役場駐車場で観閲式の後、消防団ラッパ隊の先導による分列行進が行われました。消防隊の勇姿に、見物に訪れた町民からも拍手が贈られていました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰も行われました。川湯消防出初式は1月6日、川湯消防支署前で行われました。



町の話題

町の話題



出席者全員で記念撮影

大人としての新たな一歩喜ぶ

第71回弟子屈町成人式



交通安全宣言を行う三浦翔さん(左)

記念品を受け取る白山翔太さん(右)

記念品を受け取る上野絵里奈さん(右)

第71回弟子屈町成人式が1月13日、町公民館講堂で行われました。今年、町内で成人を迎えたのは64人。式典にはそのうちの50人が出席しました。式典では、新成人を代表して佐藤匠さんと阿部奈央子さんが「常に向上心を持ち、後輩たちの手本となり、地域に貢献していきたい」と誓いの言葉を読み上げたほか、三浦翔さんが弟子屈警察署の林隆俊署長を前に、交通安全宣言を行いました。また、今回は弟子屈高校の地域貢献活動と、先輩方へのお祝いの意味を込めて、生徒の皆さんが司会進行と受け付けを行いました。式典に続き、ユースフルネットワークてしかが(会長)が中心となつて祝賀会を開催。豪華な景品を目指したビンゴゲームなどが行われ、新成人の皆さんが楽しみました。

司会進行などを行った弟子屈高校の生徒の皆さん  
左から谷田さん(3年)、西田さん(3年)、藤田くん(2年)、高橋くん(2年)



1月1日  
餅まきや川湯ばやしなどで新年を祝う  
道の駅でお正月イベント



道の駅摩周温泉で1月1日、恒例の新春感謝祭が行われました。新春感謝祭は、道の駅のリニューアルオープン後から毎年行われているもので、今年で8回目。正面玄関前で川湯ばやしが披露されたほか、正面広場では、くじ入りの餅まき大会が行われ、多くの方でにぎわいました。館内では、直売会特製の福袋が販売されたほか、地産の牛乳やお汁粉が振る舞われ、来場者の皆さんは、お正月気分を満喫していました。

たくさんの方がつめかけた餅まき

12月27日  
地方自治の振興と発展に貢献  
館忠良さんが北海道社会貢献賞受賞



長年にわたり市町村長や市町村職員・議会議員として地方自治の振興と発展に貢献された方の功績をたたえる平成30年度北海道社会貢献賞(自治功労者)を前町議会議員 館忠良さんが受賞し、12月27日に役場応接室にて伝達式が行われました。館さんは平成12年11月から平成28年11月までの16年にわたって町議会議員として地方自治の振興発展に尽力し、地域住民をはじめとした皆さんから広く信頼を得ていました。当日は北海道釧路総合振興局地域創生部 千代紳部長が来庁し、表彰状と記念品の伝達を行いました。

表彰状を手に館さん・中央

12月19日  
地域交通の未来を考える  
第5回町地域公共交通活性化協議会



平成30年度第5回弟子屈町地域公共交通活性化協議会(徳永哲雄会長)が12月19日、役場委員会室で行われました。町では地域交通の確保、維持、改善のため関係機関が連携してさまざまな事業を行っています。この日は弟子屈えこパスポート事業(夏期)の結果報告、弟子屈えこパスポート事業(冬期)の概要、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価、地域公共交通アンケート調査速報とデマンドバス利用状況について報告・議論が交わされ、今後の方針や改善すべき点などについて確認されました。

町民が利用しやすい環境を

カメラスケッチ  
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

1月16日  
子どもたちの幸せを願って  
認定こども園運営協定調印式



平成31年4月1日から新しく開園する幼保連携型認定こども園ましゅうの運営協定調印式が1月16日、学校法人弟子屈学園(鈴木幸榮理事長)と町により行われました。認定こども園ましゅうは、現在の町立おひさま保育園の園舎を活用し、弟子屈学園が設置・運営を行います。調印にあたって、鈴木理事長は「町民の皆さんや町の理解もあり設置に至った。幼保連携してよかったと言われるよう、一人ひとりの子ども、町民の皆さんの幸せを願い努力をしていきたい」と話しました。

鈴木理事長(左)徳永町長(右)

1月7日~22日  
力作が勢ぞろい  
絵手紙摩周湖年賀状作品展を開催



絵手紙摩周湖年賀状作品展が今年も弟子屈郵便局(藤原将男局長)で1月7日~22日にかけて開催されました。同展は町内のサークル「絵手紙摩周湖」(藤原直美代表)が毎年この時期に開く恒例行事で、今年は126点の作品を展示。絵手紙の多くは今年の干支であるイノシシや、お正月・季節に関わる題材で描かれ、どれも手書きならではのぬくもりのある作品ばかり。書き手の心のこもった力作が勢ぞろいし、郵便局を訪れる方を楽しませました。

あたたかい手紙文化を伝える

12月20日  
思いのこもった手書きの年賀状  
手紙出前授業を開催 | 弟子屈小学校



弟子屈小学校(中原英雄校長)の2年生が12月20日、「手紙出前授業」で年賀状の書き方を学びました。同校で5年目となるこの授業では、年賀状などの利用が減少傾向にある中、子どもたちへ日本の手紙文化を伝えています。講師に日本郵便株式会社北海道支社帯広営業総括本部の石川所長と、補助講師として弟子屈郵便局の藤原局長が来校し、年賀状の書き方を指導。児童は熱心に耳を傾け、友だちや家族へ心を込めた年賀状を書きました。また、消印の意味や全国各地の変わった郵便局や郵便ポストなども紹介されました。

相手を思い浮かべて

12月20日  
平成30年秋の叙勲  
瀧昌之元町教育委員長へ叙勲伝達



昭和49年7月から23年間、町教育委員として、昭和54年10月から18年間、教育委員長としての重責を果たされた瀧昌之さんに、札幌市内の自宅で、平成30年秋の叙勲(地方教育行政功労)が伝達されました。瀧さんは在任中川湯小学校や川湯中学校などの全面改築や、町図書館や屈斜路コタンアイヌ民俗資料館、川湯屋内温水プールなど教育施設の整備に尽力。学校薬剤師としても34年間、児童生徒への薬害対策などの指導に当たりました。瀧さんは「身に余る光栄。弟子屈町の将来を担う子どもたちが、これからも健やかに育って欲しい」と述べていました。

表彰状を手に瀧さん(右)

1月17日  
弟子屈の魅力再発見  
第3回弟子屈探究 | 弟子屈高校



弟子屈高校(宮崎円校長)では、今年3回目となる「弟子屈探究」が行われました。弟子屈ならではの自然や郷土の魅力を学習する取り組みで、今回は、川湯エコミュージアムセンターと阿寒摩周国立公園管理事務所職員のガイドの下、1年生25人が和琴半島を中心に、スノーシューを履いての散策や、温泉水の採水などを行いました。和琴半島のほか、川湯温泉、道の駅摩周温泉などで採水した温泉水は、後日、理科の授業で試薬などを使い成分を分析し、分類分けなどが行われました。

晴天の中、気持ちよく散策

1月17日  
楽しくおいしく食を学ぶ  
幼稚園で食育調理実習を実施



摩周丘幼稚園(鈴木幸榮園長)で1月17日、町主催による食育調理実習が行われました。同園では昨年12月26日にもおにぎりや味噌汁の実習が行われています。この日は2歳児から年長までの25人の園児が参加。レトルトのルーを使わない手作りシチューとツナが入ったポテトサラダを作りました。子どもたちは枝豆をさやから取り出したり、ジャガイモとニンジンをつき型を使ってくりぬいたりして一生懸命調理しました。この他にも昨年10月から今年1月にかけて町内の各放課後児童クラブでお弁当の調理実習が行われています。

おいしくなあれ

12月25日  
年末も防犯・防災の心得を  
歳末警戒街頭啓発を実施



町、町暴力追放運動推進協議会、弟子屈防犯協会の主催による平成30年度 弟子屈町歳末警戒街頭啓発が12月25日、町内の大型店舗や金融機関、道の駅などで行われました。昨年は、大雨による水害や地震によるブラックアウトなど、今までにないような災害が相次ぎました。この経験を活かし、災害への備えを普段から心がけることが必要です。当日は弟子屈警察署や各地区防犯協会など多くの関係機関からおよそ30人が参加。いくつかのグループに分かれて町内を巡回し、啓発品の配布を行いました。

啓発品の防災セットを手渡す

12月22日  
特殊詐欺・飲酒運転を防ぐ!  
特殊詐欺防止・飲酒運転撲滅年賀はがき



特殊詐欺防止・飲酒運転撲滅啓発年賀はがき差し出しセレモニーが12月22日、弟子屈郵便局(藤原将男局長)で行われました。近年被害が増加している特殊詐欺の防止や悲惨な交通事故につながる飲酒運転撲滅の啓発を目的としています。年賀はがきでの啓発活動は6年目を迎え、今回は弟子屈防犯協会(田中富士男会長)が主催となり、町内20の会社・団体の協力のもと実施。はがき裏面は弟子屈警察署によりデザインされたものです。セレモニーでは、田中会長から郵便局員に啓発用年賀はがきを手渡されました。

会長からはがきを受け取る